



2021年7月

ビジネス・イノベーション研究所 兼任研究員 活動報告

(1) 奥野 明子

●2021年7月17日

日本労務学会第51回全国大会にて発表しました。

「仕事配分と人事評価が産休・育休からの復職者の仕事意欲に与える影響」

(奥野明子、大内章子、奥井めぐみ)

●2021年7月30日

「人事評価のアンコンシャスバイアス研究」第1回研究会

科学研究費助成事業「無意識のバイアスが女性従業員の人事評価に与える影響」

(課題番号 21K01667) に基づく研究会

(2) 西村 順二

●(一社)在日韓国商工会議所兵庫主催の「アジアンパーク創生シンポジウムⅡ」 におけるパネルディスカッションのパネラー

2021年7月3日(土) 14:00-17:00 ラッセルホール

多文化共生の街神戸において、これからの街づくりに寄与するものとしてアジアンパークを構想することの意義、そしてジェーン・シェイコブズの街づくり概念の重要性について、パネラーとしてコメントした。

●大阪府経営合理化協会主催「経営幹部塾」におけるマーケティング発想に関する講演

2021年7月8日 18:00-20:00 大阪産業創造館会議室

企業の経営幹部30人に対して、マーケティング発想とその論理的転回の重要性について講義を行った。

●デリチユース社・(株)新居紙器に対する西村ゼミ3・4年ゼミ生による産学連携研究最終発表会

2021年7月15日(木) 10:40-12:10

甲南大学岡本キャンパス 133教室

10ヵ月にわたる産学連携研究を続けてきた研究成果の発表会を開催。



西村ゼミ3年生と西村ゼミ4年生の提案した製品については、魅力的であると評価をいただき、実現に向けて動き出すこととなった。

●日本中小企業学会夏季西部部会

研究報告「零細小売業における商品取り揃え改善問題」（大阪経済大学 藤本寿良氏）に対するコメント及び討論

2021年7月17日（土）10:30-11:40

大阪商業大学梅田サテライト・オンライン開催

品揃え概念に対する従来の研究視点：消費者の品揃えと商業・流通の品揃えという2言論に対して、消費者の視点からの品揃えに着目し、在庫モデルの提案による零細小売業者の小売在庫管理と消費者利便性の増大に対する研究について、その論点整理を行い、研究上の評価点と問題点を指摘した。

(3) 望月 徹

●赤穂を元気にする作戦会議（仮称）

地域・観光マネジメント研究をおこなっている望月研究室の3年生のゼミ活動の一環として、赤穂市役所に8年勤務し、市政にも精通している荒木友貴議員と次の日程・テーマで、全5回の定期協議（11:00~12:00、Zoom）の場を設け、学生による研究報告をもとに意見交換した。

（作戦会議の議題と発表者）

6/22 坂越、御崎地区の賑わい（奥田）～宮原、東谷、田口、坂口は現地イベント調整

6/29 赤穂の概要・成り立ち（濱岡、大崎）

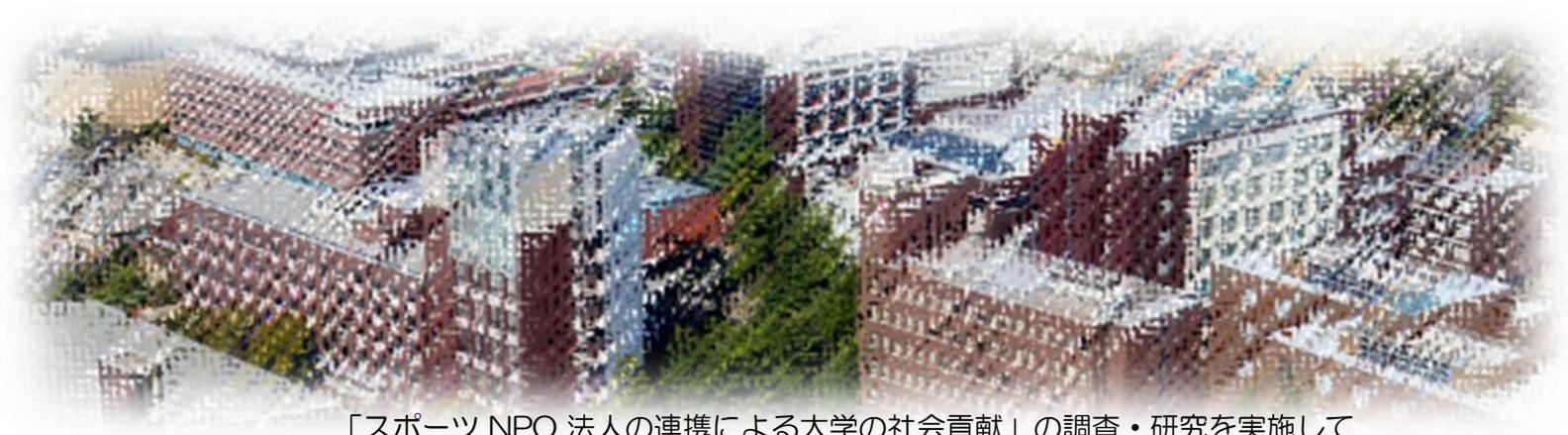
7/6 日本遺産「坂越」をいかす古民家再生の先行研究（稲川）

7/13 坂越、御崎地区回遊型観光地の形成（大崎）～旧坂越浦会所小倉様のご講話後

7/20 まとめと今後のプロジェクト展開

●スポーツNPOの活動と大学の社会貢献

上記と同様、望月研究室の3年生のゼミ活動の一環として、神戸市東灘区を中心に幼児から小学生を対象にスポーツの活動支援を行うNPO法人アスロン（開業2005年、年商2億円、従業員20人、会員1,200人）を対象に、



「スポーツ NPO 法人の連携による大学の社会貢献」の調査・研究を実施している。

この一環で、望月ゼミとして、5月11日の井原一久代表の Zoom による、特別講演「子供を支える総合型地域スポーツクラブの社会的役割」（13:00~14:00）を開催した。

また、これを踏まえ、アスロンが、今夏、尼崎市で児童の貧困・孤立対策として実施する「朝活おはよう体操」（おむすび＝食事、学習、運動機会の提供：麒麟福祉財団、尼崎市社会福祉協議会等後援）に望月ゼミとして参加することとし、7月30日16:00~17:00、Zoom で井原代表からレクチャーを受け協議・調整を行った（和泉、桜井、松本、吉岡、八木）。